



SPACE No.42

日本臨床心理身体運動学会会報第 42 号 2024 年 2 月 10 日

編集発行 日本臨床心理身体運動学会 会長 山中康裕

【学会大会第 25 回大会】

この度の令和六年能登半島地震で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表し、被災された多くの皆様にこころよりお見舞い申しあげます。また支援に当たられている関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。そして被害が今以上に拡がらないことを祈念いたします。

昨年 11 月に東邦大学（千葉県）にて学会大会の第 25 回大会がオンサイト・オンラインのハイブリッド方式で開催されました。オンラインの併用は、その設営や当日の会場運営などで大変なことも多いですが、遠方からも参加していただけるという利点は大きいです。

2つの事例研究発表、3つの一般研究発表、ワークショップ、講演会、シンポジウムが開催されました。1日目には懇親会も開かれ、山中先生にもご来場いただき盛会となりました。徐々に、コロナ前の大会へと戻りつつあるかとも思いますが、コロナ禍を経たからこそ、本学会のあり方や大会に参加しての思いが新たになったのではないのでしょうか。

今号では、開催にご尽力いただいた大会実行委員長、および発表者、参加者の皆様からコメントを頂きました。振り返りつつ、次年度宮崎大学で開かれる第 26 回大会に向けて、また思いを新たにしていきましょう。

第 25 回大会を振り返って

澁川賢一（東邦大学）

昨年 11 月 25 日・26 日に、日本臨床心理身体運動学会第 25 回大会を東邦大学習志野キャンパスにて開催させていただきました。多くの先生方にご参加をいただき、誠に有難うございました。本学会大会では、「共鳴する身体」というテーマの中で、研究発表、対面での懇親会、6つのワークショップ、一般公開シンポジウム（テーマ：器としての身体）を開催いたしました。大会当日は至らぬ点多かったと反省をしておりますが、ご参加いただいた皆様に喜んでいただけましたら幸いです。

大会実行委員長としての 1 年余りの期間は、とても濃密な時間でした。準備段階においては、実行委員会の立ち上げに始まり、大会テーマの決定、学内施設利用の申請手続き、大会プログラムの立案、登壇者への依頼交渉、広告協賛・後援依頼、ポスター作成、ホームページ開設、大会プログラムの作成、参加者や大会予算の管理、会場運営といった様々な作業が、常に目の前にありました。膨大な作業と締め切りに押しつぶされそうになりましたが、今思えば、毎日向き合った一つ一つの作業を通して、心理臨床家としての自分自身が問われ、鍛えられていったようにも感じています。特に相手への配慮、時間・場所・料金といった基本的な枠組みの設定（とその意味）、決断と覚悟に関しては、大いに考えさせられました。私にとって 2 番手が居心地の良い位置でしたが、1 番手の責任感や風圧を味わうことが出来たのは有難い体験でした。実行委員の中島郁子先生、齊藤茂先生、山本幸代先生、前

田章先生、野澤珠美先生、学会事務局の三宅様には準備段階から当日まで、多大なるご支援・ご協力をいただきました。また、当日の会場運営には多くの先生方や東邦大学関係者にもお手伝いをいただきました。この場を借りて改めて御礼を申し上げます。

私の想いが詰まった一般公開シンポジウムでは、話題提供者の妻木充法先生のご講演や実演は大変刺激的でした。体育やスポーツを生業としている私にとって、心と身体とのつながりは理解していたつもりでしたが、想像を超えて身体が（自他に）情報を入力していることを痛感しました。身体が他者と共鳴し増幅器として機能することの可能性を感じたとともに、身体のことをわかったつもりになってはならないと自戒しました。また、アプローチの仕方が身体であれ心であれ、その人そのものをどのように感じて向き合うことができるか、相対するこちら側の態度や姿勢が問われることは同じなのだろうとも感じました。

未だ学会大会の余韻が残り、消化吸收していくにはしばらく時間がかかりそうです。ただただ慌ただしく動き回っていただけで何も得られていないのかもしれないかもしれません。少なからず身体に刻み込まれた体験の記憶を大切にしながら、今後の臨床活動に丁寧に向き合っていきたいと思います。この経験をいつの日か日本臨床心理身体運動学会の活動にも還元できるよう、日々精進していきたいと思います。次回大会以降も、学会大会が盛会となりますことを心より祈念しております。

日本臨床心理身体運動学会での事例研究発表を行って

篠田亜美（早稲田大学保健センター）

2023年11月に千葉県で行われた第25回大会にて事例研究発表をさせていただきました。

発表した事例は、何年か前に終結したものの、「もっとできたことがあったのでは」、「これでよかったのだろうか」と思うところがあり、一度きちんと振り返りたいと感じていた事例でした。これまで何度か講習会等で本学会の事例検討の場に参加させていただいた際に、この学会の場の懐の深さのようなものを感じ、この事例を発表するならばここで発表させていただこうという気持ちで、発表者にエントリーしました。本学会には前回の第24回大会前に入会し、大会参加自体も2回目、発表は初めてのことで、まだまだ新参者の心持ちながら、ゆったりと臨むことができたのも、この学会の懐の深さ故と感じます。

当日は、指定討論の労をお取りいただいた高橋幸治先生、名取琢自先生をはじめ、フロアの先生方からも本当にたくさんコメントをいただくことができ、それらのコメントが響きあって、一つのリズムのようなものが生まれていくライブ感を肌で感じることができました。そして、発表前に感じていた「もっとできたことがあったのでは」「これでよかったのだろうか」という漠とした感覚が、「こういうことが起こっていたのかな」「ここをもう少し考えられたらよかった」と細分化して自分の中にすっと納まっていきました。

私はいつも、事例を少し大きな場で発表するとき、うまく表現できないのですが、自分が見守ってきたクライアントが、自分以外のたくさんの臨床家の見守りの中に包まれるような感覚を持ちます。もちろん、経過の最中にも、クライアントと関わる多くの人々の見守りがあり、自分自身も現場の同僚や構造的な守りに支えてもらいながら、経過が進んでいくのだと思いますが、終結後に一段抽象化した形で多くの臨床家の先生たちにクライアントの存在が共有されるということに、どこか温かさを感じます。今回の発表では、その温かさがより強く感じられたように思います。

個人的には、長らく過ごした関西を離れて、関東に移ったばかりのタイミングでしたので、生活も仕事も一から基盤を作り直さねばならず、落ち着かない日々の中での発表でしたが、これから気を引き締めて、自分らしくやっっていこうという元気をももらえたように感じます。改めて、このような機会をいただけたことに深く感謝申し上げます。

一般研究発表を経験して

内田 晋子（平安女学院大学）

日本臨床心理身体運動学会第25回学会大会にて一般研究発表をさせていただきました。発表では、わらべうたを中心とした親子の子育て支援講座についての実践発表をしましたが、今回の発表は日本臨床心理身体運動学会でなければできなかったのではないかと思います。子育て支援講座で行った歌や遊びの実践をしながら、フロアの先生方に追体験をしていただきたいと事前に考え、準備をしました。考えていたよりも時間がかかりましたが、1時間30分という発表時間のお陰で焦らずに発表ができました。また、フロアの先生方が一緒に参加してくださっているような感覚があり、当時の様子を私自身が思い出したりイメージしたりしながら、発表を進められました。忘れていたことが思い出され、発表して良かったなとしみじみ感じています。そして、発表に対してたくさんのコメントをいただいたお陰で、実践について多様な視点で考えることができました。私自身が楽しめる実践であったと振り返って感じる事ができたと同時に、たくさんの親子と一緒に同じ場を共有することが大切であったと気づくことができました。親子の身体に関わることや“祭り”との共通点など考察の視点もいただき、新しい視点をもって実践を見ていけるように思います。コロナ禍や私自身の事情もあって現在中断をしている子育て支援講座でしたが、もう一度できる環境が整えば続けたいと想いを強くしています。

最後になりましたが、学会大会の運営をしてくださった先生方や指定討論者の仁里文美先生、座長の中島郁子先生、発表にコメントを頂いた先生方、フロアやオンラインで参加してくださった先生方、お声がけくださった中島登代子先生にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。学会等に対面で参加させていただくことは数年ぶりでしたが、仁里先生や中島先生をはじめ、フロアやオンラインでご参加された先生方の作ってくださった雰囲気のお陰で安心して発表できました。本当にありがとうございました。

第25回大会に参加して

永野 雅代（こごうメンタルクリニック）

昨年入会した新参者です。初めて対面での学会大会に参加しました。昨年は、オンラインで参加したので、今回が初めての対面での参加でした。

オンラインの良さは、何と云ってもその利便性です。昨年は、オンラインによって自宅に居ながらにして参加することができました。大会に参加された皆さんの討論を聞きながら、時にはチャットで参加することもできます。しかしながら、今回は千葉県習志野市まで赴くことができ、大会の臨場感をたっぷり味わうことができました。これは、やはり生身で参加したからこそその良さでしょう。オンラインでは、いつも顔を合わせていた皆さんとも対面では初めて会うことができました。お互いに「初めて会いましたか？」と、半信半疑の初対面。バーチャルがリアルに転じた瞬間を味わうこととなりました。

今回の一般公開シンポジウム「器としての身体」での妻木充法さんのパフォーマンスは、会場にいたからこそ、伝わってきた感があります。もはや、鍼灸師としては名人の域に達している方だからこそその手技と感じました。名人の手技を味わえた壇上の先生方は幸運だったと思います。臨床心理の世界でも、どうしたら名人とまではいかなくとも、精進していけるのか。妻木さんの「共同作業」という言葉に、ヒントの一端があるように感じたことでした。「ツボも、見つけられたがっている」「一番無力なところが、一番変化を受け入れる」というのも、臨床心理に通じるところがあるのではないのでしょうか。

ワークショップでは、中島登代子先生の「MSSMの魔法～もののけのトリセツ」に参加しました。コロナ禍前の中島先生のセミナーで、対面で1回経験し、その後はオンラインでのセミナーで講義を

受けました。実際に臨床場面で使ってみると、MSSM に助けられる場面が多く、その不思議さに魅入られる思いがします。当日は少人数で、まず 2 人組を作って実践。その後の講義を受けて、メンバーを入れ替えて実施しました。MSSM は、Th が自分なりに実践している側面も多く、私もその一人。ぐるぐる描きの線を、画用紙を回して見ながら、CI へのヒントのつもりで、あれこれと連想されるものを喋っていました。講義の中で、中島先生も浅田先生も「黙ってやる」と聞き、2 回目の実践の光景が一変しました。皆、口には出さずとも、不安は不安のまま、黙ってやってみることに意義を感じたようです。

これこそ、対面での醍醐味を感じるワークショップとなりました。事例研究発表にも参加して、対面での各 3 時間、たっぷり浸ることができました。

今回、会場となった東邦大学習志野キャンパスは、交通アクセスが良く、宮崎県から出向いた私でも、非常にわかりやすい場所にありました。大会実行委員長の澁川賢一先生はじめ、第 25 回大会に関わった全ての方々へ感謝です。次回の第 26 回大会は、宮崎県・宮崎大学で行われます。宮崎県での初開催、ぜひ、神話の故郷・宮崎へ足を運んでください。きっと、風土に根差した体験を楽しんでいたのではないかと思います。お待ちしております。

令和4年度 事業報告

【学会大会】※オンライン「Zoom」とハイブリッド開催

- ・第24回大会 令和4年12月3日（土）、12月4日（日）西九州大学 佐賀キャンパス
(佐賀県佐賀市)

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・第25巻第1号 令和5年3月31日発行

【会報 SPACE】

- ・No.40 発行 令和5年3月31日発行

【学会研修会】

- ・第1期 令和4年6月26日（日） 第70回 オンライン「Zoom」
- ・第2期 令和4年9月18日（日） 第71回 オンライン「Zoom」
- ・第3期 令和5年3月5日（日） 第72回 オンライン「Zoom」

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】

- ・第1期 令和4年6月26日（日） 第41回 オンライン「Zoom」
- ・第2期 令和4年9月18日（日） 第42回 オンライン「Zoom」
- ・第3期 令和5年3月5日（日） 第43回 オンライン「Zoom」

※学会研修会および資格講習会の非会員参加について

より多くの非会員の参加を募るため、資格講習会ではオンライン開催においても、講師の了承が得られた場合には、以下の参加資格を設け、誓約書を提出してもらうことを条件に非会員の参加募集をおこなった。

[参加資格] ①臨床心理士有資格者 ②臨床心理士資格養成指定大学院生 ③正会員の推薦を受けた者

研修会では非会員募集を行わない。

【常任理事会】

- ・第1回 令和4年6月26日（日） オンライン「Zoom」
- ・第2回 令和4年9月18日（日） オンライン「Zoom」
- ・第3回 令和4年12月2日（金） ホテルニューオータニ佐賀（佐賀県佐賀市）
- ・第4回 令和5年3月5日（日） オンライン「Zoom」

【理事会】

- ・令和4年度理事会 令和4年12月3日（土） 西九州大学 佐賀キャンパス（佐賀県佐賀市）
およびオンライン「Zoom」

【総会】

- ・令和4年度総会 令和4年12月4日（日） 西九州大学 佐賀キャンパス（佐賀県佐賀市）
およびオンライン「Zoom」

令和5年度 事業計画

【学会大会】※オンライン「Zoom」とハイブリッド開催

- ・第25回大会 令和5年11月25日（土）、11月26日（日）東邦大学 習志野キャンパス
(千葉県船橋市)

【学会誌 臨床心理身体運動学研究】

- ・第26巻第1号 令和6年3月発刊予定

【会報 SPACE】

- ・No.41
- ・No.42

【学会研修会】※オンライン「Zoom」とハイブリッド開催

- ・第1期 令和5年6月11日（日）第73回 キャンパスプラザ京都 京都文教大学
サテライト教室（京都府京都市）
- ・第2期 令和5年9月17日（日）第74回 東邦大学 習志野キャンパス（千葉県船橋市）
- ・第3期 令和6年3月17日（日）第75回 会場未定（静岡県浜松市）

【認定スポーツカウンセラー資格講習会】※オンライン「Zoom」とハイブリッド開催

- ・第1期 令和5年6月11日（日）第44回 キャンパスプラザ京都 京都文教大学
サテライト教室（京都府京都市）
- ・第2期 令和5年9月17日（日）第45回 東邦大学 習志野キャンパス（千葉県船橋市）
- ・第3期 令和6年3月17日（日）第46回 会場未定（静岡県浜松市）

※学会研修会および資格講習会の非会員参加について

前年度の引き続き、資格講習会ではオンライン開催においても、講師の了承が得られた場合には、以下の参加資格を設け、誓約書を提出してもらうことを条件に非会員の参加募集をおこなっていく。

[参加資格] ①臨床心理士有資格者 ②臨床心理士資格養成指定大学院生 ③正会員の推薦を受けた者

研修会では非会員募集を行わない。

【常任理事会】

- ・第1回 令和5年6月11日（日） キャンパスプラザ京都 京都文教大学サテライト教室
(京都府京都市)
- ・第2回 令和5年9月17日（日） 東邦大学 習志野キャンパス（千葉県船橋市）
- ・第3回 令和5年11月24日（金）「旬菜処 たけ」（千葉県習志野市）
- ・第4回 令和6年3月17日（日） 会場未定（静岡県浜松市）

【理事会】

- ・令和5年度理事会 令和5年11月25日（土） 東邦大学 習志野キャンパス（千葉県船橋市）

【総会】※オンライン「Zoom」とハイブリッド開催

- ・令和5年度総会 令和5年11月26日（日） 東邦大学 習志野キャンパス（千葉県船橋市）

日本臨床心理身体運動学会 令和4年度決算報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

<収入の部>

費目	令和4年度 予算	令和4年度 決算
入会金	130,000	130,000
年会費	1,820,000	1,827,000
会費収入小計	1,950,000	1,957,000
研修会参加費	420,000	360,000
研修会参加費収入小計	420,000	360,000
講習会参加費	540,000	486,000
審査料(新規・移行)	30,000	10,000
登録料(新規・更新・移行)	130,000	70,000
課程認定	13,000	13,000
課程認定料	0	0
受取利息	0	43
資格認定費収入小計	713,000	579,043
紀要購読料	15,420	15,420
バックナンバー売上	5,140	0
出版事業収入小計	20,560	15,420
雑収入	100,000	207,773
その他収入小計	100,000	207,773
収入の部 小計	3,203,560	3,119,236
前年度より繰越	6,128,040	6,128,040
収入の部 合計	9,331,600	9,247,276


<支出の部>

費目	令和4年度 予算	令和4年度 決算
会報(SPACE)製作費	10,000	0
紀要製作費	486,000	594,260
紀要発送費	50,000	0
編集局業務委託費	132,000	132,000
通信費	15,000	19,240
学会誌・編集委員会小計	693,000	745,500
大会援助金	200,000	200,000
会場費	20,000	0
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	10,000	5,460
研修委員会小計	270,000	245,460
講師謝礼	200,000	240,000
通信費	5,000	2,760
資格認定費(カード代)	18,000	14,080
雑費	5,000	2,033
資格認定委員会小計	228,000	258,873
通信費	100,000	87,665
印刷費	15,000	11,208
備品・消耗品費	40,000	18,131
会議費	100,000	76,000
交通・宿泊費	250,000	46,740
倉庫代	137,727	165,956
慶弔費	20,000	0
事務局業務委託費	772,200	772,200
雑費	28,000	25,675
事務局小計	1,462,927	1,203,575
ホームページ維持費	7,000	0
委員会運営費	10,000	0
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	10,000	0
支出の部 小計	3,180,927	2,953,408
次年度へ繰越	6,150,673	6,293,868
支出の部 合計	9,331,600	9,247,276

監査報告

令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の会計監査を行った結果、次のとおりご報告いたします。当期の経理状況および使途を正当に示すものであり、適正に処理されていることを認めます。

令和5年8月10日

監査 高木 起子 

監査 吉村 功 

日本臨床心理身体運動学会 令和5年度予算
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

＜収入の部＞

費目	令和4年度 決算	令和5年度 予算
入会金	130,000	100,000
年会費	1,827,000	1,820,000
会費収入小計	1,957,000	1,928,000
研修会参加費	360,000	540,000
研修会参加費収入小計	360,000	540,000
講習会参加費	486,000	540,000
審査料(新規・移行)	10,000	30,000
登録料(新規・更新・移行)	70,000	450,000
課程認定	13,000	0
課程認定料	0	0
受取利息	43	0
資格認定費収入小計	579,043	1,020,000
紀要購読料	15,420	15,420
バックナンバー売上	0	5,140
出版事業収入小計	15,420	20,560
雑収入	207,773	100,000
その他収入小計	207,773	100,000
収入の部 小計	3,119,236	3,608,560
前年度より繰越	6,128,040	6,293,868
収入の部 合計	9,247,276	9,902,428

＜支出の部＞

費目	令和4年度 決算	令和5年度 予算
会報(SPACE)製作費	0	10,000
紀要製作費	594,260	513,260
紀要発送費	0	100,000
編集局業務委託費	132,000	132,000
通信費	19,240	15,000
学会誌・編集委員会小計	745,500	770,260
大会援助金	200,000	200,000
会場費	0	60,000
指定討論者謝礼	240,000	240,000
雑費	5,460	15,000
研修委員会小計	245,460	315,000
講師謝礼	240,000	200,000
通信費	2,760	18,000
資格認定費(カード代)	14,080	79,000
雑費	2,033	10,000
資格認定委員会小計	258,873	307,000
通信費	87,665	110,000
印刷費	11,208	15,000
備品・消耗品費	18,131	40,000
会議費	76,000	100,000
交通・宿泊費	46,740	370,500
倉庫代	165,956	100,980
慶弔費	0	20,000
事務局業務委託費	772,200	759,000
雑費	25,675	35,000
事務局小計	1,203,575	1,550,480
ホームページ維持費	0	7,000
委員会運営費	0	10,000
学会積立金	300,000	300,000
雑損失	0	0
予備費	0	10,000
支出の部 小計	2,953,408	3,469,740
次年度へ繰越	6,293,868	6,432,688
支出の部 合計	9,247,276	9,902,428

事務局より

○年会費納入のお願い

年会費を未納の方は、至急下記口座に入金してください。また、納入状況につきましては、事務局までお問い合わせください。

正会員 10,000円 一般会員 9,000円 準会員 7,000円

<振込先>

送金口座

ゆうちょ銀行
1 4 4 6 0 - 2 9 2 3 1 2 1 1
日本臨床心理身体運動学会

銀行対応

店 名：四四八（よんよんはち）
店 番：4 4 8
預金種目：普通預金
口座番号：2 9 2 3 1 2 1

○年会費自動払込の手続きについて

年会費の自動払込手続きは、学会総会における決議事項であり、全会員にお願いしています。手続き未完了の方は自動払込利用申込書をご提出ください。申込書をお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。

○住所・所属等の変更連絡のお願い

住所や所属等に変更があった場合は、速やかに事務局までご連絡ください。

○メールアドレス登録のお願い

事務局よりご連絡を差し上げる際に使用いたしますので、メールアドレスのご登録がお済みでない方は、下記事務局アドレスまでご連絡ください。

○退会申請について

退会をご希望の方は、年会費を完納した上で該当年度の **3月31日まで** に書面の退会届（**署名・捺印要**）を事務局宛にご郵送ください。3月末以降の申請となった場合、翌年度末退会となりますのであらかじめご了承ください。※退会届の様式は自由です。

例) 令和6年3月31日までに退会届を郵送→令和5年度末退会
令和6年3月31日以降に退会届を郵送→令和6年度末退会

○連絡先

日本臨床心理身体運動学会事務局
〒600-8449 京都市下京区新町通松原下ル富永町107-1 株式会社 木立の文庫内
TEL : 075-585-5277
FAX : 075-320-3664
E-mail : office@rinsinsin.jp

編集後記 1年が経つのはあっという間ですね。1年1年と学会大会を重ねてくる中で、25年という時の流れを感じます。今大会でも山中先生が言われていたように、学会にしようと思う、と京都で言われて早四半世紀が経つことに驚かされます。その間に様々な出来事があるとともに、学会の歩みも感じることができるように思います。25周年記念号も必要ですね。原稿をお待ちしています。（仁里）

SPACE No. 42
日本臨床心理身体運動学会 会報第 42 号
2024年2月10日発行
日本臨床心理身体運動学会
会 長 山中康裕
編集責任 仁里文美
事務局 〒600-8449
京都市下京区新町通松原下ル富永町107-1
株式会社 木立の文庫内
TEL : 075-585-5277
FAX : 075-320-3664
E-mail : office@rinsinsin.jp